



議会だより

北条

北条町議会
45
平成29年8月



「豪雪に耐えて」

最盛期を迎えたデラウェア (江北)

6月
定例議会

北条庁舎を耐震化

2

質疑あれこれ

3

町政

ここを問う

4



<http://www.e-hokuei.net>

北条町議会

検索



問 田中福祉課長
昨年、啓発チラシを全戸配布している。また、様々な機会を通して虐待根絶のため啓発活動に努めている。

答 田中福祉課長
昨年、連絡のあったものだけで約40件ある。虐待防止対応として見守り活動など、住民への啓発は、十分になされているか。

問 浜本 武代
① 事例は増加していない。困難な勤務であり、特殊勤務手当が必要と判断し、提案したもの。② 特別に報告はないが、十分に気を付けて対応することとしている。

問 津川 俊仁
今回の改正は、従来の水道料金と下水道料金の隔月徴収から、水道・下水道の各料金を毎月徴収に変え、また納付期限が月末から25日となるため、住民に混乱がないよう丁寧な周知をされたい。

問 吉岡地域整備課長
実際の徴収は、今年12月からで納付期限は12月25日となる。それまでに町報や水道検針時にチラシを配布し周知したい。

問 手嶋総務課長
① 主催者（県）に受入れ枠があれば、補正対応も考えている。② 出来たら自主防災組織の隊員が望ましいが、検討してみたい。

問 西尾副町長
不確定要素があり、確実な収入見込額で計上した。

問 倉光住民生活課長
残り3戸分も、早期売却をめざしている。

6月
定例議会

北条庁舎を耐震化

負担は中部1市4町で

議案の審議結果

案名	審議結果
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定	全会一致 
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
スポーツ推進審議会条例の一部改正	
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
水道事業給水条例等の一部改正	
工事請負変更契約の締結（由良宿団地建替工事（第1期））	
工事請負変更契約の締結（風力発電所電線路移転工事）	
住宅新築資金等貸付特別会計（第1号）	
一般会計（第1号）	
介護保険特別会計（第1号）	（8万円）
下水道特別会計（第1号）	（1068万円）
風力発電特別会計（第1号）	（±0円）
大栄歴史文化学習館特別会計（第1号）	（37万円）
水道会計（第1号）	（収益的収支118万円、資本的収支24万円）

※繰上充用……平成28年度の収入不足（未収金）を平成29年度の予算から前借りすること。

6月定例議会を、6月2日から12日までの11日間、開きました。町長から提案された条例6件、工事請負変更契約2件および補正予算7件の計15議案を慎重審議しすべて原案どおり全会一致で可決しました。また、委員会発議の条例改正案1件と議員発議の特別委員会設置案2件も、いずれも可決しました。

住宅由良宿団地（第2期）の工事請負費1億2277万円、北条庁舎の耐震工事請負費6350万円を含む3億9364万円を増額し総額91億4364万円となり、予算ベースで今年度も90億円を超えました。なお、北条庁舎耐震改修は、今後とも中部ふるさと広域連合が事務所として使用するため、改修費は1市4町で負担します。2つの特別委員会設置は、いずれも今後の町政の重要政策に関する研究・調査であり、議員任期の本年10月22日まで精力的な審査が求められることとなります。

発委第3号 町議会委員会条例の一部改正

現行の常任委員会の委員定数5人では、審査及び調査を採決に加わらない委員長を除く4人で行うこととなる。多様な意見に基づいて議論を尽くすための委員数を確保する必要があるため。
【現行】総務5人、産業建設5人、教育民生5人 → 【改正】総務教育8人、民生経済7人
表決：全会一致で可決 施行日：平成29年10月23日

発議第2号 道の駅北条公園整備に関する調査特別委員会の設置

同公園整備計画は執行部の概要説明を受け、それぞれの分野の専門家の説明・意見を聞き、各議員は総合的に議決権の行使を図り、町民の付託に応えるものとするため。
議案提案者：池田捷昭 提出賛成者：阪本和俊、長谷川昭二
表決：全会一致で可決 委員の定数：議員全員 委員長：池田捷昭 副委員長：浜本武代

発議第3号 農業振興施策と財政運営に関する調査特別委員会の設置

農業振興施策と財政運営は執行部の概要説明を受け、それぞれの分野の専門家の説明・意見を聞き、各議員は総合的に議決権の行使を図り、町民の付託に応えるものとするため。
議案提案者：阪本和俊 提出賛成者：池田捷昭、長谷川昭二
表決：賛成11で可決（浜本・池田・山下・前田・森本・宮本・町田・阪本・油本・飯田・長谷川）
委員の定数：議員全員 委員長：阪本和俊 副委員長：長谷川昭二

請願・陳情の審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生 北条町職員労働組合 執行委員長 前田雅美 (紹介議員：津川俊仁)	採択 全会一致	地方財政予算全体の安定確保を図るため →政府に意見書提出
北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情	幸福実現党鳥取県本部 代表 菅田千賀子	採択 賛成11	町民の生命、身体および財産を守るため必要である →町長へ送付し、処理の経過および結果の報告を請求する。

※詳しい内容等はHPに掲載しています。

賛否あり

北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情

反対討論 長谷川 昭二

北朝鮮は、国際社会の強い警告にもかかわらず、ミサイルの発射等を強行した。北朝鮮の度重なる暴挙に、厳しく抗議するものである。この問題の解決は、外交的解決しかなく、対話の努力を強めることが求められる。しかし本陳情は、いたずらに国民の不安を煽るものであり、採択に反対である。

表決での賛成議員

浜本・田中・池田
山下・森本・宮本
町田・阪本・油本
飯田・津川



リフォーム助成

県内産木材の利用を

町長 補助制度の検討



長谷川 昭二

長谷川

国土面積の67%を

占める森林は、再生可能な木材の供給とともに、国土・環境の保全など大切な役割を果たしている。

戦後の植林が多い我が国の森林はいま、蓄積量49億立方メートル、成長量は年間消費量に匹敵し、木材の自給率を引き上げる条件が生まれている。

県産材の利用で住宅リフォーム助成額を増額し、利用促進を図ってはどうか。

町長

鳥取県では平成12年度

から「とっとり住まいる支援事業」という県産材の活用などを目的とした助成がある。県内事業者によって木材新築住宅に県産材を10立方メートル以上使用する場合、42万円から最大で70万円、住宅リフォームの場合、最大25万円がある。さらに、製材の途中でできた端材は、木質バイオマス事業への活用も見込める。補助制度の創設について、検討を進めたい。



県産材の利用拡大を

部活動指導員

顧問として採用を

教委員長 学校の意見も取入れ

飯田

部活動の外部指導員について

①部活動指導員として学校職員に位置付ける省令により、顧問とすることができるようになったが、本町の実態はどうか。
②顧問教諭の負担軽減のため、非常勤職員として採用しては。

教育委員長

学校における部活動の充実のため、部活動指導員の制度が創設された。①教員の多忙化は増している状況である。学校の

意見も取り入れ考えたい。
②現実的には外部指導者が平日に指導することは難しく、パート扱いである。他町の実情も参考に検討したい。



飯田 正征



練習を見守る顧問教諭（大栄中体育館）

町政

ここを問う

質問分野	質問事項	質問者	ページ
教育	部活動指導員	飯田 正征	4
生活・環境	リフォーム助成	長谷川昭二	5
	黄砂とPM2.5	阪本 和俊	
	除雪対策	斉尾 智弘	6
健康・福祉	有害鳥獣の被害	町田 貴子	7
	がん検診の受診率	飯田 正征	8
	生活習慣病の重症化	斉尾 智弘	
産業・農業	データヘルス計画	長谷川昭二	9
	国保運営の都道府県化	池田 捷昭	10
	子育て支援	阪本 和俊	
政治・政策	北条道の駅再整備	山下 昭夫	11
	イチゴ工場	浜本 武代	
	道の駅北条公園の基本構想	田中 精一	12
政治・政策	（株）フジオフードシステム	山下 昭夫	12
	異例の貸付け	浜本 武代	
	下水道使用料	北条の地域づくり	13

黄砂とPM2.5

政府に意見書を

町長 各団体を通じて

阪本

日本に運ばれて来る黄砂とPM2.5は、

吸い込めば肺がんや心筋梗塞のリスクが増大。地球温暖化の原因とされる二酸化炭素濃度は年々増加し、平成28年の平均値が国内の観測地点ですれも最高を記録。中国の環境対策と、パリ協定を離脱したト

町長

この問題については、日本海沿岸の自治体が強

く影響を受けている。このため町村会や県、各政党、町が加盟している環境関連のネットワーク組織を通じて国へ要望し、本腰で取り組みを進めるよう働きかけを行いたい。



阪本 和俊



倉吉保健所でPM2.5などを毎日観測

町政ここを問う

町政ここを問う（生活・環境）

がん検診の受診率

向上への具体策は

町長 きっかけ作りを積極的に



町田 貴子

町田 町で死亡原因の1位となっているがんは、早期発見、早期治療で生存率が高くなる。大腸がんはこの30年で約6倍に増え、女性の部位別がん死亡率の1位となった。

私は昨年、町の検診で大腸がんが発見されたが、幸い早期であったため大事に至らず、改めて検診の大切さを実感した。受診率向上の具体的な取り組みは、

町長 受診の環境づくりのため、がん検診、特定健診とも集団検診や医療機関のどちらでも受診でき、都合のよい日に受診できる体制をとっている。

今年度は、特に過去未受診の方の受診勧奨と、通院中の方でも検診の必要性を周知していく。

自治会での「健康講座や「まちの保健室」を通じて、きっかけ作り積極的に取り組み、受診率向上を目指したい。



検診で早期発見

町田 死亡原因の上位に高血圧・糖尿病がある。これらの生活習慣病の重症化を防ぐにはどのような対策が考えられるか。

町の抱える健康課題として次の点があげられる。

- ・高血圧の人が多い
- ・糖尿病の重症化
- ・日常的な運動習慣の欠如

これらの課題解決に向けた具体的な取り組みは。



血液検査で生活習慣病を発見

町長 保険指導の対象者を健康の血液検査の結果や医療機関の受診状況、過去の保健指導状況などを考慮し選定している。

保健師や栄養士と面談を通じ食事、運動などの生活状況を聞き取り、改善の方向を一緒に考え「生活習慣病予防の講演会」などへ参加を呼びかけ継続的にサポート。

必要人には紹介状を発行して、医療機関への受診を勧める。

生活習慣病の重症化

具体的な防止策は

町長 継続的にサポート

除雪対策

ボランティアへの支援を

町長 検討したい



斉尾 智弘

斉尾 本年1月と2月に大雪があった。主要な道路は、県や町が除雪費用を予算化し対応しているが、今回の大雪では、自宅から除雪された道路に出ることもままならない事態もおきている。

①町が除雪しない生活道路への対応は。

②ボランティアで除雪作業をしている方への支援と組織化は。

町長 ①町内の除雪協力が可能な建設業者は、その機械保有状況からすると、これ以上除雪路線を増やすことは困難である。

②高齢者しかいない地域や除雪ができないような地域では、深刻な問題である。

自治会や事前登録による組織が除雪を行った場合に支援を行った例があるので検討する。組織化についても検討してみたい。



由良駅前も除雪がままならず

斉尾 近年、野生鳥獣による作物や生活環境への被害が急増し、住民生活を脅かしている。

里山の多くは、人口の減少や高齢化、産業構造の変化により地域住民と森林との関わりが希薄化し、手入れが行われなくなったことで荒廃が進行している。

里山の荒廃と有害鳥獣被害は関係していると考えるが対策は。

町長 人の生活が変化するとともに人の手が入らなくなり、里山と田畑が隣接した所には放置された藪や耕作地が荒廃し、有害鳥獣が頻繁に出没するようになった。

町としても、JAを通じて各生産部や住民活動による草刈などにより、森林と農地との間の緩衝帯の整備や生産廃棄物の適正な処理をお願いしている。さらに鳥獣被害対策協議会の活動を活発化し、捕獲活動を奨励していく。



捕獲されたイノシシ

有害鳥獣の被害

里山の荒廃が問題

町長 緩衝帯の整備

町政（こ）を問う（生活・環境）

6

税の境界層措置を

町長 規定にない

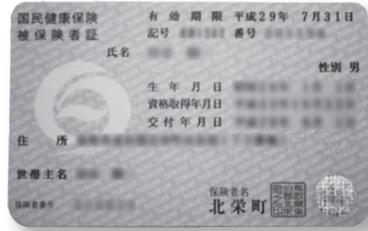
長谷川 国保運営の都道府県化は、収納対策が強化され、保険料の引き上げや、市町村が住民福祉として実施している負担軽減、給付の上乗せを解消させようとしている。

町長 国保税を払うことにより生活保護基準以下になる場合には、保険料が免除される境界層措置の制度化を求めている。

町長 新制度でも、公費負担で軽減し、あわせて国へも負担を求めている。



長谷川 昭二



更新期に県統一の被保険者証を発行予定

通知内容の見直しを

町長 現状のまま

飯田 マンモグラフィーは乳腺濃度の高い乳房については画像全体が見えにくい。このような高濃度乳房でも、国の検査指針では、結果を「異常なし」「要精密検査」のいずれかで通知されているが、通知内容の見直しが必要ではないか。

町長 20〜39歳を対象にした検診の導入と超音波検査とマンモグラフィーの利点・欠点や、年代別検診の勧め等を周知し、検診を促しては。さらに負担軽減策はないか。



飯田 正征



新しく導入された女性検診車 (県保健事業団提供)

町長 検診は40歳以上の女性を対象に2年に1回実施している。結果通知については、従来どおりと考えている。

町長 20〜39歳を対象とした集団検診をするとしても、現在の検査方法のマンモグラフィーでは、乳腺の発達した若い人は、がんと乳腺の判別が難しい。超音波検査に関しては、乳腺が発達した若い女性でも異常が発見できるが、この検査のみの検診は認められていない。町が行う検診としては時期尚早と考える。受診料は現状で行う。

町政(こ)を問う (健康・福祉)

町政(こ)を問う (健康・福祉)

データヘルス計画 糖尿病と精神疾患

町長 まずは糖尿病対策

斉尾 増え続ける医療費が社会問題となるなかデータヘルス計画を活用すれば医療費の削減が期待される。

町長 特に、医療費の増大が懸念される糖尿病と精神疾患の本町の取り組みは。



斉尾 智弘



糖尿病は、重症化すると毎日インスリン注射が必要となる

町長 健康寿命を延ばすことが目的だ。2か年の計画で糖尿病の重症化予防も計画している。血糖値を測り腎機能の落ちている方に個別に面談し、人工透析にならないよう保健指導を行い、継続的にサポートしていく。

精神疾患の方の対応は、この計画に入っていないが、今後の推移を見守りたい。

子育て支援 給食費の負担軽減

町長 現時点では考えていない

長谷川 国保税の均等割は、一人につき8000円。子どもが多ければ負担が重くなる。子ども分の均等割を軽減してはどうか。

町長 均等割には軽減措置があり、前年の世帯所得と世帯内の子どもを含む被保険者数によって減額割合が決まっている。子どもに係る均等割額の軽減は、全国知事会を通じて要望している。

町長 均等割には軽減措置があり、前年の世帯所得と世帯内の子どもを含む被保険者数によって減額割合が決まっている。子どもに係る均等割額の軽減は、全国知事会を通じて要望している。

教育委員長 給食の献立に見合う給食費であり、負担軽減は考えていない。

長谷川 国保税の均等割は、一人につき8000円。子どもが多ければ負担が重くなる。子ども分の均等割を軽減してはどうか。

町長 均等割には軽減措置があり、前年の世帯所得と世帯内の子どもを含む被保険者数によって減額割合が決まっている。子どもに係る均等割額の軽減は、全国知事会を通じて要望している。

町長 均等割には軽減措置があり、前年の世帯所得と世帯内の子どもを含む被保険者数によって減額割合が決まっている。子どもに係る均等割額の軽減は、全国知事会を通じて要望している。

教育委員長 給食の献立に見合う給食費であり、負担軽減は考えていない。



会話しながら楽しい給食 (大栄小学校)

A工区に問題

町長 3工区一体的に整備



山下 昭夫



プラント進出予定地
(右奥は希望の館)

山下 基本構想設計費用200万円が3月議会で予算化された。その中で、A工区の民有地を町で買収する素案が示された。

大型商業施設を併設した一体道の駅に対して多額の財源が投入され、町財政の負担が重く、問題がある。

町長 道の駅北条公園一帯が、本町発展に果たす役割が大きいと考える。交通の要所であり、本町の活性化につながるため再整備する。

A工区に商業施設プラント、B工区はトイレや休憩、特産品の販売や、食事ができる道の駅、C工区をオートキャンプ場に再整備する。道路と一体的に整備することで、複合的な施設として提供する。

降りてくるか

町長 そのために整備



池田 捷昭



プラント進出予定のA工区

池田 ①山陰道開通のあかつきには、鳥取米子間が1時間で結ばれる。これに対する認識と、山陰道から、整備される道の駅に車が降りてくるか。

②計画を進めるためには、リスクや課題を一つずつ解決して進めるものだが、何も考えていないのでは。

③多額の税金を投入して、現在の道の駅周辺の土地を買収し、大型商業施設と賃貸借契約するのは優遇ではないか。その理由は。

町長 ①通過点となってしまうことが懸念される。降りていただくための仕組みとして、道の駅と周辺の整備を考えている。

②デメリットも考慮し、メリットを活かしていく。費用対効果を試算して示し、進めていきたい。

③民有地を町が購入するかは決まっていない。必要であれば、全体のバランスを見て考慮する。



阪本 和俊



今年は苗づくりから

イチゴ工場 手を引け

町長 時期を見極めて

阪本 中部のイチゴ農家から「町やJAは私達のことを考えてくれているのか」との声が聞こえてくる。イチゴ工場の商品が大量に回収れば農家は大打撃だ。4畝の増設など、もつてのほかだ。

病害虫に対するリスク管理や、経営のノウハウを持たない町長が経営者では到底無理で

町長 イチゴ生産農家の不信感が執行部や議会に對し高まっているとのことだが、我々にはそのような声は聞こえていない。規模拡大に合わせ新たな販路を開拓しなければ

ならない。市場は生産者がまとまってロットをそろえて出荷してくれることを強く望んでいる。病気が怖いので普及所、JAの職員にも定期的にもってもらっている。農家の指導も受けている。将来は時期を見極めて、経営を若い人にバトンタッチしたい。

ある。町は手を離し、JAに一任すべき。

(株)フジオフードシステム

町内でワインづくりが 現在は構想段階

町長

浜本 子会社の平成28年の高千穂地区での収穫実績と農福連携、平成29年の作付け状況は、4月30日付の日本海新聞の報道には、この会社が平成30年より北栄町でのぶどう栽培、ワインづくり、店舗経営などを開始とある。今後の対応と展開は。

町長

昨年実績はジャガイモが50㍏、18ト。玉ねぎが10㍏、3ト。農業と福祉の連携は5事業所から、114名が従事し、苗植えや収穫をした。

本年はジャガイモ30㍏、玉ねぎ10㍏、キャベツ10㍏が作付される。新聞にはフジオ側が構想段階で報道規制していたものが流出し、地元などに迷惑をかけた。

今後は、農地の紹介や店舗の開設など具体的な要望があれば、県と連携し進める。



浜本 武代



ワイン用ぶどうの増産が待たれる(国坂地区)

つながりの一助に

町長 ニーズを把握して



浜本 武代

浜本

北条支所
には7月

から、総合窓口業務による住民サービスを行う、地域づくり担当が配置される。この地域づくりのため、一例として実行委員会や地域協議会を立ち上げ、地区の運動会や敬老会を実施すれば、北条地区のつながりづくりの一助になるのでは。



北条支所の開所式（7月3日北条健康福祉センター）

町長

北条支所に
配置する地

域づくり担当の職員が地域運動会などを開催するのは、趣旨が異なるように感じる。役場主導でそれらを立ち上げるのは、住民主体の活動にならないのでは。地域づくりの推進にあたっては、実際のニーズ等を把握し今後検討していく。

異例の貸付け

背信行為だ

町長 不手際に深くお詫び



田中 精一

田中

昨年6月
議会の補

正予算審議で、コナンの家・米花商店街の建設に伴い、町商工会への1千万円の無担保、無保証、無利息の貸付金は、悪しき先例となるので再考を求めたところ、副町長から「保証人を求めたい」との答弁があり、予算を可決した。しかし、年度末に無保証貸付が、実行されてしまった。なぜ本会議で再度の判断を求めなかったのか。町民、議会への背信行為ではないか。

町長

町商工会役員に保証人

を求めたが「今後、役員の受け手がなくなる。事業費が増額となり、財源の調達に苦慮している」との理由で「無担保、無保証、無利息」貸付を実行した。しかし、指摘のとおり、実行前に本会議等で方針変更を説明すべきであり、執行部の不手際を深くお詫びするとともに、今後はこのような事態とならないよう、細心の注意を払いたい。



由良川から望む集合店舗



山下 昭夫

山下

審議会の
答申では

平成29年度中に使用料を11割平均改定率へ値上げし、3年ごとに見直しをする。この改定で、借金1.2億円、一般会計からの繰入金8億円の解消になるのか。

町長

すでに、地
域座談会や

自治会説明会で説明している。町の下水道事業の状況、会計の財政状況、使用料の基本的な考え方、答申の内容および改定案について説明を行

い、質問や意見をいただいている。

審議会答申では建設費は使用料で回収することを目指すもので、財政状況に関して解決方法になるのではないかと。



地域座談会で改定案を説明（中央公民館大栄分館）

下水道使用料 値上げで解決になるか 町長 なるのではないか

追跡 あの質問はどうなった？

【平成27年3月定例会・一般質問】

Q. バイパス排水路で浸水対策を

問 【田中議員】

由良駅南地区の排水路は、屈曲し流れにくい。バイパス排水路を新設し、直接、雨水を前川に流し込む「浸水防止対策」をされたい。

答 【松本町長】

すでに検討をはじめた。順次、改修するよう考えている。

A. バイパス水路2本（新設）と既設水路1本（改修）が完了

前川に直接接続した町道大栄小中学校線側溝。5月の突如の雷雨にも浸水被害はなかった。



対策前



対策後



なかよし 兄弟姉妹



なかよしさん 募集中！ 議会事務局まで

もりつく 森次 桃子さん 小4 (右)
 森次 真子さん 5歳 (左) (由良宿3区)

桃子は生き物が大好きで、今、カナヘビを飼育しています。
 真子は自転車の練習中です。何回も転びながらも頑張っています。
 ふたりとも、命を大切にすることに育ってほしいです。



有福 暹未くん 4歳 (右)
 有福 稀未くん 3歳 (左)
 有福 真翔ちゃん 8か月 (中央) (米里)

長男は好奇心旺盛で最近では自転車、ピアノ、折り紙などできるようになりました。
 次男はお兄ちゃんの姿を見て自分でしようとしめず。地震の翌朝に生まれた三男はお兄ちゃんが好きでいつも笑顔が絶えません。
 だんご3兄弟、早く大きくなって母を守って下さいね。



知っとなる？こんな北栄

こうばいざん しょうがんじ
紅梅山 松岸寺 (江北)



伝承によると、江北浜石山の西側に北野神社、東側に天台宗の寺院があり、神仏が合わせて祀られていた。北野神社の祭神、菅原道真にちなんで、寺の山号は「紅梅山」で寺紋は梅鉢である。寺伝によれば、天文16年(1547)天台宗権大僧都阿闍梨秀英が庵を建てたのが起りであり、慶長12年(1607)有山英寛が曹洞宗の寺を開いて松岸寺としたといわれる。〔新修 北条町史〕より

TCC区域外波受信設備 (亀谷)



現在、TCCでは3波の区域外(山陰地方以外)地上デジタル放送として「瀬戸内海放送」「テレビせとうち」「サンテレビ」の魅力的な番組サービスを提供している。
 この放映は、エリア(琴浦・北栄・湯梨浜の3町)内に受信場所があることが原則となっており、TCC社員が必死に電波を探索した結果、北栄町亀谷地内に適地を発見し、大型アンテナを設置したものの。

発行責任者 議長 井上信一郎
編集 広報広聴常任委員会
 委員長 田中 精一
 副委員長 油本 朋也
 山下 昭夫
 森本真理子
 宮本 幸美
 齊尾 智弘

私たちの任期も二か月余りとなりました。今のメンバーでの議会だよりも、これが最後となります。広報委員の多くは初めての経験の中、どうすれば多くの町民の皆さんに読んでいただけるか、悪戦苦闘しながら編集してきました。これまでの議会出前座談会では「議会だよりを讀めば、町政の今や内容は大体わかる」と言っていただけのように思いますが、なかなか思いません。これからも、町政の動きをさらに見やすくわかりやすくお伝えしていきたいと思ひます。終わりに、議会だよりを讀んでくださった方の中から、町政に参画してみようと考へていただいた人が一人でも増えることを願っています。

編集後記